

特集

オンコ・ジェ

「がん」に強い総合診療医 をめざして

日本人の2人に1人が「がん」にかかると言われる時代、

しかも、治らずとも長生きできるようになってきた。

おのずと、がんを抱えながら生きていく患者に、「総合診療医」が関わる機会も増えている。

がん医療の専門機関だけで、彼らを支えていくことは、量的にも質的にも難しい。

そこで、この機に「オンコ・ジェネラリスト」という言葉をつくってみた(p.1188)。

がん診療において、「総合診療」の出番は決して少なくない。

総合診療医に、がん診療において、これまで以上に力を発揮してほしい。

オンコ・ジェネラリストという言葉には、

「がん患者の総合診療」を行う担い手として、ジェネラリストへの期待を込めた。

企画 | 東 光久

ネラリスト

今月の Questions

- Q1 「オンコ・ジェネラリスト」とは何ですか? >>> 1188
- Q2 がん診療について、「オンコ・ジェネラリスト」が知っておきたい3つのポイントは? >>> 1192
- Q3 がんに関する病歴聴取で、急性の症状、たとえば発熱で来院した患者に対して、
どのような「問診」が有効か? >>> 1197
- Q4 「腫瘍随伴症候群」を、いつどのように疑うべきでしょうか? >>> 1201
- Q5 「オンコロジック・エマージェンシー」とは、そもそも何でしょうか? >>> 1204
- Q6 がん検診での「腫瘍マーカー」測定のメリット／デメリットは? >>> 1208
- Q7 「原発不明がん」を診断するには? >>> 1212
- Q8 「悪い知らせ」は、どう伝えればいい? >>> 1214
- Q9 「がん治療」において最も重要なことは? >>> 1217
- Q10 「がん治療医」との連携を図る際に、最も重要なことは? >>> 1221
- Q11 わが国で地域包括ケアシステムの構築が進められていることを踏まえ、
病院総合医として、患者の“人生の最終段階”における「意思決定」で配慮すべきことは? >>> 1226
- Q12 地域における「多職種連携」をスムーズに進めていくのに必要なことは? >>> 1230
- Q13 総合診療医にも、「悪性リンパ腫」は治療できますか? >>> 1234
- Q14 進行がんの診断で、抗がん治療を開始した。
「緩和ケア」は、いつから開始すればよい? >>> 1236
- Q15 「疼痛」の症状マネジメントにおける注意点は? >>> 1240
- Q16 「抑うつ」や「不安」を呈するがん患者の診療における注意点は? >>> 1244
- Q17 「呼吸困難」を訴える進行がん患者へのモルヒネ投与は安全か? >>> 1248
- Q18 がん患者さんの「急激に発症した精神症状」への対応で留意することは? >>> 1252
- Q19 「看取り」は指導医たちの見よう見まねでやっていますが、注意点は? >>> 1255
- Q20 「高齢者」のがん診療で留意することは? >>> 1258
- Q21 がん専門病院で進行肺がん治療中の患者が、38.2℃の発熱であなたの外来を訪れ、
WBC6,000/ μ L、CRP 12.6mg/dL、胸部X線で限局性浸潤影がみられた。
ニューキノロン系抗菌薬を投与してよい? >>> 1261
- Q22 「総合診療医」だからこその、がん患者や家族に提供できる支援とは? >>> 1265